

ご功績

尼崎市民芸術賞

かつら や そ はち

桂 八十八

住所：尼崎市

尼崎市出身・在住の落語家です。人間国宝・桂米朝の最後の内弟子です。

令和3年8月、二代目八十八を襲名。持ちネタの多さは上方落語界屈指で、米朝から引き継いだ落語に、さらに自分らしい明るさと工夫を加えた芸風により、上方落語の手本と言われています。また、市民にとって身近な場所での公演を通し、積極的に落語の面白さを届けています。

上方落語界において重要な位置をしめ、さらなる活躍が期待される、本市の芸術文化の振興に多大なる貢献をなされております。

ご 略 歴

1 受賞者名 桂 八十八 (かつら やそはち)

2 活動分野 芸能 (落語)

3 住 所 尼崎市

4 活 動 歴

昭和63年10月	桂米朝に入門、芸名桂宗助。
昭和64年2月	京都の安井金毘羅会館「桂米朝落語研究会」で初舞台。
平成7年3月～	大阪梅田の太融寺にて勉強会「宗助はんの会」を開催。
平成8年6月～	尼崎市の立花駅前で自身の勉強会を開催。
平成8年9月～	大阪・上新庄での「上新庄えきまえ寄席」にメンバーとして参加。 自身の勉強会、同期らとの会を各地で開催。
平成9年	NHK新人演芸コンクール新人演芸大賞受賞。
平成13年12月	大阪松竹座の新生松竹新喜劇師走公演に出演。以降、曾我廼家喜劇の復活上演を試みる「山椒の会」に参加。
平成14年9月	大阪・国立文楽劇場小ホールで初の独演会を開催。その後はテイジンホール、朝日生命ホールなど会場をかえつつ、毎年1回開催。
平成28年2月	大阪松竹座で師匠・桂米朝追善の芝居「地獄八景亡者戯」に出演。
平成29年6月	大阪松竹座で芝居「銀二貫」に出演。
令和3年8月	師匠・米朝の俳号「桂八十八」を襲名。 大阪・サンケイホールブリーゼを皮切りに東京・紀伊國屋ホール、岡山コンベンションセンター、和歌山県民文化ホール、京都府立文化芸術会館、天満天神繁昌亭、神戸新開地・喜楽館で襲名披露公演を開催。 その後令和4年3月まで襲名記念公演を各地で開催。